

2010～2011年度会長テーマ

a
BEACON
of
hope



「人生が荒れ狂う嵐に襲われ、暗闇に包まれたとき
夢がしおれ、絶望に見舞われたとき
遠く離れた海岸に立つ忠実な灯台のように
ライオンが一筋の光となって、道を示している」

歌「希望の光」より

希望の光

私が住むノースカロライナ州のアウターバンクスには世界一高い、煉瓦造りの灯台があります。1807年に建てられたハッテラス岬灯台は、2世紀以上にわたり、船乗りのための希望のシンボルとして存在してきました。大西洋海流が流れるこの地域は、ハッテラス岬の沖を除き、絶好の航路でした。このすぐ近くではメキシコ湾の暖かい海流と冷たいラブラドル海流がぶつかり合います。これが海に激しい暴風雨を起こさせ、大波をうねらせるのには理想的な条件を作り出します。ハッテラス岬の灯台は、望みをすべて失くしたと思った何千人もの船乗りに進むべき方向を指し示し、船を安全な港へと導きました。

現代の船舶には最新の航行補助器具があり、衛星システムが搭載されているにも関わらず、灯台は今もなお世界中の海岸で光を発しています。時を越え、進路がわからなくなった人々や助けを必要とする人々の希望の象徴となり続けています。かつて灯台の最上部で手作業によりランプを照らした灯台守はとうの昔に機械に取って代わられました。その明かりは今なお重要です。

ヘレン・ケラーは困っている人々に明かりをもたらす手助けをしてくれるよう、ライオンズに求めました。私たちはその呼びかけに、他のどの組織もかなわない規模で応えました。そしてライオンズの奉仕の明かりはこれまでに増して今日もさらに重要なものとなっています。もちろん、テクノロジーのおかげで私たちの暮らしはいつそう便利になっています。また、生活の質を高めるだけでなく、多くの場合、人類を苦しめてきた病気の根絶をも可能とした医学の進歩を誰もがありがたく感じています。しかし、私たちの暮らしを向上させてくれた進歩は語り尽くせないほどたくさんあるにもかかわらず、人と人との交流の必要性に取って代わるものはないのです。奉仕をしようと差し出される手の代わりとなるものは一切ありません。

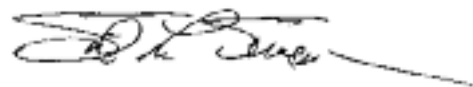
ボランティア活動という確固たる土台の上に築かれたライオンズクラブ国際協会は、1917年以来恵まれぬ人々に希望をもたらしてきました。私たちの歴史を通じてライオンズは暗闇と絶望に閉ざされた何百万もの人々が健康で幸せな生活を送れるよう光を照らしてきました。ライオンズの会員一人ひとりが一筋の光を放っています。それは、それぞれの目に、笑顔に、そして行動に見て取ることができます。

「別の魂から発せられた一筋の光が、私の心を閉ざしていた暗闇に射しました。そうして私は自らを見つけ出し、私を封じ込めていた暗くて音のしない囲いから抜け出すことができましたのです。」

ヘレン・ケラー

これからの一年間ともに航行していくにあたり、途中で思いがけない障壁や岩だらけの海岸線、嵐、荒波に直面する可能性もあるでしょう。しかし、205カ国に130万を超える灯台があります。行き先を照らし続けるライオンズの会員たち、希望の光となり続けるライオンズの会員たちがいるのです。

皆さんの会長としてお願いします。奉仕の光を明るく輝かしてください。ともに、恵まれぬ人々そして安全な場所とより良い明日を探し求めている人々のための光と希望の象徴となり続けようではありませんか。



シド L. スクラッグス III
国際会長

「ライオンズこそ、より良い明日をもたらしてくれる人たちだと人々が頼りにしていることを、私はライオンズに気付いてほしいのです。ライオンズは希望の光なのです。」

シド L. スクラッグス III



奉仕の光になろう

私たちの成功のカギは大きな影響を与える奉仕事業

私たちのモットー「われわれは奉仕する」は、私たちの使命を定義するものであり、私たちの組織の中核原理です。今年度、私たちは奉仕への決意を新たにします。事実、奉仕は私が会長を務める2010～2011年度のテーマの中心となります。ボランティアとなる方法を探し求めている人々が増えている中、今こそライオンズが奉仕に光を当てるチャンスです。

実地参加型の奉仕は、直接人々の心をつかむ光を照らします。実際のところ私たちはそれを見てきていますし、アンケート調査やフォーカスグループによる討議を通じて、「参加型」奉仕や奉仕の対象となる人々との直接の触れ合いが、これまでにないくらい重要になっていることが分かっています。人はさまざまな理由でボランティア活動を行いますが、主な理由は、世の中をよくしたいという願いからです。人生において何が大切であるかを自問し、自らの時間をどのように費やしたいかを見直しています。そして地域社会での奉仕や他の奉仕の機会に目を向けています。私たちは、ボランティアの時間を尊重し、それが最大限の成果を上げるために使われるようにしなければなりません。

「130万人のライオンが新たな決意のもとに奉仕を行えば、世界中の困っている人々に莫大な影響をもたらすことができるでしょう。」

シド L. スクラッグス III





2010～11年度における主要奉仕戦略

グローバル奉仕実施キャンペーン

大成功を取めた「Lions In Sight (ライオンズ・イン・サイト)」プログラムの延長として、今年度ライオンズには四つの「グローバル奉仕実施キャンペーン」への参加が奨励されます。青少年に光を照らすため、8月の国際連合「国際青少年デー」に合わせてプログラムを企画することがライオンズに呼びかけられます。その他の機会として挙げられるのは、予防可能な失明に光を照らし、10月のライオンズ独自の「世界視力デー」を支持する事業を行うことや、飢餓に光を照らし、クリスマス、ハヌカー、イード・アルファトル、ディーワーリーなどの伝統的な祝祭日、その他の適切な時期に、困っている人々のために食べ物を集めることなどです。そして最後に、4月の「アースデイ (地球の日)」を支持して環境保全事業や活動を実施することにより、環境に光を照らすことがライオンズに呼びかけられます。「グローバル奉仕実施デー」は、どうすればそれぞれの地域で援助を行うことができるかについて、独自の視野を広げる機会をライオンズに与え、私たちが提供している奉仕にいつそう注目させるものとなります。

ライオンズ・グローバル奉仕サミット

私たちは地域社会奉仕において世界を率いるリーダーです。そうであるからには、ライオンズクラブ国際協会以外に世界的な奉仕サミットを主催するにふさわしい組織が他にあるでしょうか？今年度第3四半期中、他の奉仕団体やボランティア組織のリーダーは、奉仕における最新の動向について討議し、考えを共有するべく、ライオンズの国際本部でサミットを開催するよう依頼されます。

報告手段の向上

ライオンズクラブ国際協会のウェブサイトのデザインが新しくなり、情報のやりとりがトップダウンでもボトムアップでも、より容易にできるようになりました。奉仕および使節団のデータベースが新たに強化されたことから、今ではクラブが自慢の看板事業を報告し、事業の成果を記録することが簡単にできるようになっています。そしてこの情報は他のクラブとも共有することが可能です。クリックひとつで他のクラブとつながることができるのです。また、私たちは世界中のクラブのデータを用いて、「奉仕状況」報告書の作成も行っていきます。この報告書は、私たちが社会に及ぼしている影響を素早く示してくれるものとなります。



現地より生中継. . .

ライオンズによる、Facebook、Twitter、MySpace等のソーシャルメディアの利用が大いに増えています。これまで以上に多くのライオンが互いにつながり合い、ソーシャルメディアを利用して自分たちの行事や事業を推進しています。今年度新しく登場するのは、国際会長のブログです。そうです。私が毎週ブログを書いています。

世界各地で直接見たライオンズの活動についてです。私が公式訪問をしている期間中、私の訪問に合わせて奉仕事業を行うよう、ライオンズをお願いします。私が「現場」に派遣されたレポーターとなって訪問先のライオンズとその事業を、世界中の他のライオンズ、そして彼らの事業やアクティビティと結びつけるわけです。



私たちのストーリーを伝える

大いに光輝かせよう！

「自分たちは町中で一番の秘密」とライオンが言うのを、私たちの誰もが一度は耳にしたことがあるはず。そう言っていればそうなりますし、そもそも事実ではありません。ですから、私はライオンズの皆さんにこのような表現を頭から抹消するようにお願いします。

なぜ私たちが自分たちのストーリーを他の人々と分かち合うことが重要かといいますと、それはニーズが世界中で増え続けているからです。こうしたニーズにこれからも対応していくためには、会員を増やすことが不可欠です。そのために私たちはライオンズクラブ国際協会のブランド - 私たちが誰であり、何をし、何のために存在するのか - に対する社会の認識を高めなければなりません。

ライオンズクラブ国際協会には、どの奉仕クラブ組織よりも広範で、功を奏しているPRプログラムがあります。昨年度だけでも、ライオンズの活動を報道する記事が世界各地で8,000件以上新聞に掲載され、テレビでは700回以上ニュースとして放映されました。今では無数のクラブが積極的にPRプログラムを設け、テレビやラジオでの刷新的な公共広告や大型の屋外掲示板を使っての広告だけでなく、ソーシャルメディアをも利用して、クラブのメッセージを伝えています。とはいえ、世界規模のプログラムがどんなに大きな成功を収めようとも、それは協会の全体的なイメージの一部のみを明らかにしてくれるにすぎません。

人々は「ライオンズクラブ国際協会」に入会するわけではありません。ライオンズクラブ、そう、あ

なたのライオンズクラブに入会するのです。良いイメージは、会員となる可能性のある人や支援者に自分たちのクラブのことをよく思ってもらう上で役に立ちますが、地元における積極的かつ功を奏する広報活動だけが、時間を割いて奉仕しよう、寄付をしよう、入会招請を受け入れようという気持ちにさせるのです。

クラブと地区を支援するため、協会はウェブサイトにPRツールの新しい電子図書館、つまり「一か所で用が足りる」セクションを設けました。ここには功を奏するPRプログラムを行うのに必要なものがすべて揃っています。

アクセス件数が毎月増え続ける中、デザインが新たになったライオンズクラブ国際協会のウェブサイトは今や、情報を見つけ出し、他のライオンとつながるための最も手取り早い方法です。ウェブサイトを閲覧してください。そして慣れ親しんでください。情報を素早く見つけるためには検索エンジンを使ってください。

成功を収めるPRプログラムを企画する方法についての詳細は、www.lionsclubs.orgをご覧ください。

奉仕事業とPR活動は、切り離すことはできません。クラブ自慢の看板奉仕事業の一つに地元の報道機関を招き、関心を引いてください。また、ソーシャル・ネットワーキングサイトやYouTubeを通じて事業を宣伝することにより、地域の人々を引きこむのです。



「自らの行動をもって、他の人々により大きな夢を抱かせ、より多くを学び、より多くを成し遂げ、人として成長しようという気持ちにさせることができる人こそ、リーダーである。」

ジョン・クインシー・アダムス

有能なリーダーは行く先を照らす

奉仕事業を通して会員は、実用できるスキルを身につけます。それぞれの事業が多くの人々の暮らしを改善すると同時に、ライオンズの会員に指導技能を身につけ、磨く機会を提供するのです。私たちは新しい指導者の育成にきわめて大きな成功を収めており、今後も指導力育成の機会を重視していきます。ライオンズの次世代のリーダー育成に責任を持つことで、私たちの協会の将来が活力に満ちたものとなることを確実にする必要があります。

成功を収める指導力育成のカギ

- 指導力育成の機会について、新会員および会員となる可能性のある人に伝える
- 指導的責任を担うよう、いろいろなライオンに奨励する
- 新会員の「ライオンズ・メンター・プログラム」への参加を促す
- ゾーン・チェアパーソン、第一および第二副地区ガバナー、地区ガバナーエレクトを対象とする実用的な実務研修を実施する
- 地域で行われる研修プログラム、ライオンズ・リーダーシップ研究会、講師育成研究会への参加を奨励する
- オンラインでの育成の機会を重視する
- 優れた指導力を発揮したライオンの努力および功績をたたえる
- 地区や複合地区レベルで革新的な研修および教育プログラムを企画する

これをお読みのあなたは入会したばかりの会員かもしれませんし、すでに指導職を務めたことのある会員かもしれません。どちらにせよ、ライオンズの指導力育成プログラムに自ら参加し、同時に推進するよう、強くお勧めします。自ら進んで、ゾーンやリジョンの会議、そしてクラブ役員研修会に出席することを申し出てください。

そして地区大会、複合地区大会、さらにはエリア・フォーラムにも出席してください。指導職を引き受ける意思があることを示してください。すでにクラブまたは地区の役員であるならば、他のライオンにも同じく指導職に就くよう奨励してください。そしてライオンズ・リーダーシップ研究会や講師育成研究会への参加を促すのです。オンラインでの指導力育成の機会をこれまで以上に強調してください。ライオンズ学習センターは数々の対話型のオンライン研修コースを取り揃えており、知識を増やしながらいオンとしての経歴を積み上げていくのに大いに役立ちます。

指導者となる新たな機会を迫り、磨き上げた優れた指導力を発揮してください！

「最終的には、自分が何を学んだかではなく、何を教えたか、自分が何を得たかではなく、何を与えたか、自分が何をしたかではなく、他の人が物事を成し遂げられるよう自分が何をして助けたかです。そうしたことが人の人生を豊かにし、おのずと自分の人生も充実したものとなるのです。」

シド L. スクラッグス III



私たちの将来は明るく輝く

今日の若者は明日のリーダーです。私たちは、ティーンエイジャーや若年成人とのコミュニケーションをより上手にとる必要があります。将来への道を照らす光ほど、明るく輝くものはありません。私たちの将来です。

今日ほど若い世代がそれぞれの地域社会に関与していることはこれまでありませんでした。米国においてだけでも、17歳から25歳の若者の15%がボランティア活動を行い、地域に奉仕をしています。世界の他の地域においてはその率はさらに高いのです。私たちが若者にライオンズのメッセージをどう伝えるかが、若者がライオンズとしてボランティア活動をするようになるかどうかの決め手になります。

世間一般に信じられているのとは反対に、若者は異なる言語を話したりはしていません。しかし異なるコミュニケーション手段を使うことは確かです。彼らはコンピューター、iPhone（アイフォン）、携帯メール、チャットのほか、あらゆる手段によるソーシャルネットワーキングの世代です。私たちのメッセージをこうしたコミュニケーション手段を通じて伝えましょう。

そしてそれはすでに始まっています。ライオンズクラブ国際協会は現在、Facebook、MySpace、Twitter、iPhoneアプリケーション、ライオンズ独自のYouTubeチャンネル、LinkedIn、Flickrを設けています。そして忘れてならないのが私の新しい国際会長ブログです。これらが何かお分かりにならない方は、調べてください！ポッドキャストをご覧ください。ライオンズクラブ国際協会のビデオの多くは、今ではポッドキャストで公開されています。

しかし、若者と交流するということは、コミュニケーション以上のことなのです。若者に通じるプログラムで彼らを引き込み、彼らの意見や参加を促す必要があります。

クラブはさまざまな方法で若者の毎日を輝かせることができます。最良の方法の一つは、地元の学校または青少年団体と協力し合うことです。学校にレオクラブを結成することができるでしょうし、あるいは既存のレオクラブと力を合せ、合同事業を行うのもよいでしょう。その際、学生たちに主導権を握らせるのです。

また、ライオンズ国際ユースキャンプや青少年交換プログラムに参加する青少年のスポンサーとなることも、ライオンズクエスト・プログラムを導入することも可能です。それから、最寄りの学校で平和ポスター・コンテストをスポンサーすると

というのはどうでしょうか？ 昨年度は36万人もの11歳から13歳の子どもたちが平和ポスター・コンテストに応募しました。

今年度、私は新たな試みとして、11歳から13歳の失明もしくは視覚障害のある子どもたちを対象とする作文コンテストを導入します。これは平和ポスター・コンテストと同様の方法で行われることとなります。



「平和が生み出す力」というテーマで500語以内で作文を書く機会が、子どもたちに与えられるわけです。クラブが子どもをスポンサーするにはどうすればよいかについての詳細は、www.lionsclubs.orgをご覧ください。

さらに私は今年度、ライオンズの「奉仕における若い指導者アワード」を重視していきます。「奉仕における若い指導者アワード」プログラムはライオンズ青少年奉仕の機会における取り組みの一環です。ライオンズ青少年奉仕の機会の使命は下記のとおりです。

個人的にも集団的にも、多くを達成し、学び、寄与し、奉仕する機会を、青少年育成の分野において最善な方法としてみなされる活動を通して世界の青少年に提供する。

これについても、詳細はライオンズクラブ国際協会のウェブサイトをご覧ください。



「私たちには今のままの状態を続ける余裕はありませんし、現状に甘んじてはいけません。私たちは自らの影響力を行使し、拡大と成長を目指して努力しなければなりません。世界最大の奉仕団体としてのリーダーシップを維持するためではありません。それは、そのこと自体、重要ではないからです。しかし、人類への貢献においてベストであるためには、ライオンであることが、信望を集める、輝かしい榮譽としてみなされるよう、努力しなければならないのです。」

ジョン L. スティックレー元国際会長 1956年就任演説より

自己に内在する光を見出す

灯台は象徴以外の何物でもありません。しかし、一人ひとりのライオンズから照らし出される光は、本物なのです。私の家族はもちろんこと、ライオンであることが私の人生に明るい光をもたらしてくれました。その光のおかげで私は自らの地域社会について理解を深めることができただけでなく、自国や世界に対する視野が広がりました。

私たちの最も大きな課題は、世界で一流の奉仕団体であり続けるとともに、次世代の、奉仕に熱心な男女を引きつけることです。その方法はとていまして、奉仕という私たちの使命を通して行います。奉仕の拡大が、会員の拡大につながるのです。ただそれだけのことなのです。ライオンズの会員は、困っている人々に奉仕をしている時、最も大きな喜びを感じ、最も明るく輝きます。ライオンと話してみてください。彼らが必ず話したがるのは、所属クラブが取り組み中の事業についてか、誰かに重要な影響を及ぼした忘れられない瞬間についてです。ライオンズは自分たちが行っていることを誇りにしています。会員であり続ける理由

を与えてください。誰かの人生に役立っているというのがその理由なのです。それをすれば、ライオンズは生涯ライオンズであり続けるはずです。

グローバル会員増強チーム (GMT) が過去2年間にもたらした成果は見てのとおりです。有能なGMT、エクステンション・ワークショップ、会員維持は引き続き、近頃実現している会員増強における中核をなしていきますが、これに奉仕が加わります。今年度私は奉仕に力を入れ、クラブが看板奉仕事業に引き込むことでいかに新会員をひきつけ、会員を維持することができるかを強調していきます。そのために会員増強に関連して奉仕を推進する特別コーディネーターをGMTに任命する予定です。

奉仕の光は、私たちみんなの中で明るく輝いています。その光をずっと輝かせ続けてください。そして他の人々と分かち合ってください。オリンピックの聖火リレーのように、奉仕の光を次から次へと人々に渡して行ってください。

輝かしいスタート賞

「自分がすでに習得していること以上の物事に挑戦しない限り、成長はない。成功を夢見るだけの人もいれば、その実現に向けて努力する人もいる。」

作者不明

「輝かしいスタート賞」は、着任最初の3か月に会員増強で優れた成績を収めた地区ガバナーに授与されるものです。「輝かしいスタート賞」には二つのレベルがあります。地区ガバナーはそのいずれか一つのみを受賞対象となります。受賞の資格要件は次のとおりです。

ファーストライト賞

二つの新クラブ結成もしくは会員増加が、2010年9月30日の時点で達成されている

ブライトライト賞

五つの新クラブ結成および会員増加が、2010年9月30日の時点で達成されている

新クラブのチャーター申請書はすべて、必要事項が漏れなく記入された状態で、2010年9月30日（木曜日）の終業時までに必着で、ライオンズクラブ国際本部の会員プログラム及び新クラブ・マーケティング課に届いていなければなりません。

受賞対象のクラブとしてみなされるためには必要事項がすべて記入されたチャーター申請書、書類／書式、納入金がすべてライオンズクラブ国際本部に2010年9月30日の業務終了時までに必着で届いていなければなりません。



希望の光アワード

シアトルでの国際大会で授与される「希望の光アワード」は、奉仕の分野でクラブおよび地区が収めた優れた功績をたたえるものとなります。「グローバル奉仕実施キャンペーン」に参加し、その報告書をライオンズクラブ国際本部PR部に送ったクラブと地区のみが「希望の光アワード」の受賞対象となります。報告書（行った活動についての説明と、手に入れれば写真を添える）を提出することで、クラブまたは地区は自動的に審査の対象となります。カテゴリーは以下のとおりです。

- 最優秀環境保全事業（クラブまたは地区によって行われたもの）
- 最も独創的な青少年プログラム活動（クラブまたは地区によって行われたもの）

- 盲人または視覚障害者に対する顕著な貢献（クラブまたは地区によって行われたもの）
- 最優秀飢餓救済プログラムまたは活動（クラブまたは地区によって行われたもの）
- 奉仕精神を最良の形で体現したライオン

最後のカテゴリーに対する推薦は、2011年4月1日までにライオンズクラブ国際本部PR部に送付しなければなりません。受賞候補者の推薦を行うことができるのは、執行役員または国際理事のみです。

「自己をみつめる一番の方法
は、我を忘れて人助けに没頭
すること。」

マハトマ・ガンジー

希望をもたらす 世界中に、そして地域に

私たちの光をいっそう明るく輝かせるために、ライオンズクラブ国際財団を支援することほど素晴らしい方法があるでしょうか？

今年度、私の目標は、LCIFの各種プログラムと個々の人生に私たちがどれほど重要な影響を及ぼしているかに対する理解を深めると同時に、LCIFに寄付をするクラブと個人の数を増やすことです。

ライオンズとLCIFはハイチとチリの被災者援助のために素早く行動を起こしました。そして2004年の津波被害者への援助を今なお提供しています。私たちはこれまでに何度も、すぐさま対応に当たるだけでなく、長期解決策をも提供する力を持っていることを証明しています。これが、私たちが他とは違う点です。

ライオンズによる惜しみない支援があるからこそ、LCIFはスペシャルオリンピックス・オープニングアイズ・プログラムやその他のプログラム等、人々の人生を一変させている新しいプログラムを設けることができているのです。



あなたは希望の光

「人それぞれの運命が何であるか、私にはわからないが、一つ確かなのは、本当に幸せになる人は、奉仕をする方法を探し求め、そしてそれを見出した人だけだ」

アルベルト・シュバイツァー

7.5秒毎にハッテラス岬の灯台から閃光が放たれます。7.5秒毎に一人のライオンが、助けを必要としている人に何らかの希望をもたらしています。

世界中205カ国または地域において、世の中の役に立っている130万もの光があります。私たち一人ひとは、小さな光にすぎないかも知れません。ですが、私たちが一つにまとまれば、暮らしの中に明かりを探し求める人々を照らす強力な希望の光となります。

私たちは地域社会奉仕において世界を率いるリーダーです。私たちは、協力し合う会員を擁する一つの組織がどうすれば地域社会を支えられるかを示す模範なのです。私たちは世界中のすべての人々の目に映る希望の光です。私たちはライオンズです。

ともに奉仕することで、私たちの光はこれまでも増していっそう明るく輝いています。